松江サマースクール



▲松江城

7月30日（木）、31日（金）の2日間、大口町内の小学6年生12名が、姉妹都市交流事業の一環として「松江サマースクール」に参加しました。

本事業は、島根県松江市と大口町の姉妹都市交流を深めることを目的とし、現在も息づく堀尾吉晴公のまちづくりを児童の皆さんが見聞きすることで、松江の歴史や文化の魅力を体感してもらうことを期待して実施しているものです。



▲出雲大社鳥居前

1日目

荘厳な雰囲気の出雲大社を参拝した後、松江フォーゲルパークを散策し、島根原子力館にて、原子力発電やエネルギーのことを学びました。

夕方には松江市役所を訪問し、職員の方たちの大歓迎を受け上定



▲松江市教育委員会の歓迎

松江市長との名刺交換や歓談をおこない、趣味や関心事について語り合う貴重な機会をいただきました。

2日目

松江市の児童と合流し、松江歴史館や国宝・松江城を一緒に見学しました。ガイドの説明を聞きながら名刺交換や自己紹介を通じて交流を深め、友情を育む時間となりました。

午後からは堀川遊覧船に乗船し、城下町の風情を水上から楽しみました。その後、来待ストーンミュージアムにて石造りについて学び、来待ストーンを使って自分だけのペンダントを製作しました。

今回のサマースクールは、児童にとって歴史・文化の理解を深めるとともに、松江市の児童との交流を通じて新たな視野を広げる大変有意義な機会となりました。



▲松江フォーゲルパーク



▲出雲大社大しめ縄前



▲児童間交流